

第4号様式

指定管理業務評価表

施設名	富士見市立放課後児童クラブ	令和5年度	事業報告
指定管理者名	社会福祉法人 富士見市社会福祉事業団		
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	所管課	子ども未来部 保育課

自己評価…指定管理者 所管評価…市(施設所管課)

個別評価項目	確認基準	自己評価	所管評価	備考	
1 業務の実施体制	人員体制	事業計画書どおりの人員を配置している。	A	A	
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A	
		責任者(代理する者)が施設に常駐している。	A	A	
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用許可や施設案内等を迅速かつ適正に行っている。	A	A	
		名札を着用し、業務遂行にふさわしい服装となっている。	A	A	
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A	
		言葉遣い、態度などの接遇は適切である。	A	A	
		事業計画に即し、職員研修を計画的に実施している。	A	A	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A	
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備され、個人情報の漏洩、滅失等の対策を講じている。基本協定書の個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備され、適切に対応できる。	A	A	
報告書の提出	定期報告書、事業報告書を期限内に提出している。	A	A		
安全、緊急対策	事故・災害等緊急時のマニュアルがあり、訓練が実施され、連絡体制や対応体制ができています。また、事故等があった場合、適切な対応が行われ、報告が市にされている。	A	A		
	事故防止及び安全確保(避難通路の確保等)のために施設や設備の目視や点検を行い、常に施設や設備の状況を把握している。	A	A		
2 業務の内容・水準	維持管理	条例等の規定に基づき開館日、開館時間を遵守している。	A	A	
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	A	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設を利用できている。	A	A	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理し、利用者が快適に利用できているか。	A	A	
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A	
	事業運営	事業計画書に即し、自主事業を実施している。	A	A	
		事業内容が利用者サービスの向上に寄与している。	A	A	
		地域や他施設との連携に努めている。	A	A	
	利用者アンケート	利用者の要望等の把握方法は適切である。	A	A	
		要望等の対応策は適切である	A	A	
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	A	A	
	管理記録	業務日誌を適切に整備、保管している。	A	A	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A	
環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は適正である。	A	A	
	経費縮減	経費が縮減され、又はその縮減に向けた努力を行っている。	A	A	
総合評価		A	A		
成果・課題等	<p>(自己評価)</p> <p>2023年度は、5月の新型コロナウイルス感染症5類相当移行に伴い、それまで実施していた感染症拡大防止対策の制限(マスク着用、検温、パーティションの使用、黙食)を緩和する形でのスタートとなりました。基本的感染予防対策を実施しつつも制限が緩和されたことにより、マスクの下に隠れていた「子どもたちの豊かな表情」を再発見できる場面や、食事、おやつ提供時の児童どうしのコミュニケーションなど、児童一人ひとりの生活も少しずつ豊かさを取り戻していききました。利用する保護者の方々からは、日々の連絡帳や利用者アンケートにおいて感謝の言葉を頂き、在籍する児童の安全・安心と働く保護者の安心を保障し、社会の下支えとしての役割を果たしていることをあらためて実感させられました。</p> <p>制限の緩和は、在籍児童、保護者を対象とした行事や学年・地域別の保護者懇談会の開催方法も緩和することができ、お出かけを伴う戸外行事の実施や対面を前提とした保護者懇談会の開催など、育成支援、子育て支援のより一層の充実を図ることができました。</p> <p>また、職員の資質向上を目的とした各種研修においても、これまでのオンライン、動画視聴による研修の企画と並行して、対面を前提とした研修も少しずつ企画、参加できるようになり、内部研修においても、クラブ毎を対象とした「倫理規範・申し合わせ事項を学ぶ倫理研修(倫理委員会)」や新人職員を対象とした「障害児学習会(障害児委員会)」等、対面の研修を実施することができました。オンライン研修、対面研修のそれぞれの良さを活かし、より一層の内容充実を図りました。クラブ毎の取り組みとしては、職員と児童で、いじめ防止を考えあう機会を設け、児童自らが「自分たちのこと」として考えあうことに力をいれました。職員全体としては「埼玉県アライチャレンジ企業」に登録し、「LGBTQ県民講座」の動画視聴研修に取り組み、職員の理解を深めました。</p> <p>制約のある集団生活の中での生活と遊びの現状は、子どもが不安やストレスにさらされながら、現状に適応する力が求められ、その健気な反応に感心させられることもありました。職員はその現状を把握し、日々の丁寧な声掛けや対応に心をつくし、その結果利用者アンケートにおいても高く評価して頂きました。</p> <p>さらに重要な課題として、近年増え続けている入室児童数と大規模過密化の問題があります。富士見市民の仕事と子育ての両立を支援するための事業役割があるため、富士見市で安心して子育てができるように私たちは職員の資質向上と事業内容の質の向上をめざして力を入れてきました。利用者アンケートには、昨年度同様に子どもたちが適正な規模で生活を保障されることを願う多くの意見を頂きました。富士見市の将来を担う大切な子どもたちが健やかに生活し、保護者が安心して働くことできるように、「親切と思いやり」をもって今後も丁寧な運営を進めてまいります。</p>				

(所管評価)

市内全クラブともに、仕様書に基づき、適切に運営を行っている。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、感染対策を縮小しつつも、適宜必要に応じて消毒や健康管理などを実施し、児童の安全と保護者の安心に配慮した運営が行われていた。

コロナ禍で実施できなかった対面研修や自主事業の催しなども積極的に再開・実施しており、今後も継続できることを期待したい。

利用者アンケート結果では、ほぼ全ての項目が「満足」、「おおむね満足」の高い評価となっており、仕事と子育ての両立支援に貢献している。

その上で、保護者からの意見が多い項目を中心に、集計結果や利用者の声を分析し、今後の運営に努めていくこと。

副管理者体制は、クラブ間や事務局との連絡調整の他、配布物の仕分け等を迅速に行い、十分な機能を果たしている。また、各クラブを巡回し小修繕を実施することで、経費の削減に繋がっている。

事業面では、全体及び各クラブが工夫を凝らした内容で積極的に取り組んでいくことのほか、人材確保の更なる努力と職員研修の充実により、職員及びクラブ運営全般の資質向上を望む。

今後も、アレルギー対策や事故防止等の安全対策に取り組み、安心して利用できる事業運営を進めていきたい。

※評価区分

- | | | |
|---|------|---|
| ① | 個別評価 | AA(優良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。
A(良好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。
B(問題含)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。
C(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。 |
| | ↓ | |
| ② | 総合評価 | AA(優良)＝個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。
A(良好)＝個別評価がすべてA以上である。(上記以外)
B(問題含)＝個別評価がすべてB以上であり、Bの割合が1割未満である。
C(要改善)＝上記以外 |